



デイサービス

ニュース

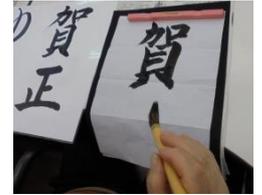


明けましておめでとうございます。今年も、みなさんに、たくさんのデイサービスの様子をお届けできたらと思います。

書初め会に参加して

西本 宏江様

中川 いく枝様



1月9日新年のご挨拶を兼ねて、書初め会にと訪問しました。利用者の皆様、スタッフの方々もお元気のご様子で先ずは一安心。デイルーム中央には「富士山」「雪だるま」「申年」の装飾がほどこされていて、思わず見とれたことです。「申年」についてお話をしたのち、約30枚のお手本を声を出してみなさんで読み、各自好みの手本を選びました。「春の海」の琴の音をバックミュージックにそれぞれ腕をふるうこと約30分余り。「希望の春」「はつはる」「初日の出」「お正月」など続々と、すばらしいそして個性ある作品が出来上がりました。お互いに出来栄を観賞しました。次の作は「申年」の抱負を1枚の大紙に寄せ書きしました。「勝つ」「愛」「けんこう」等々思いをこめてです。フロイデでは参加利用者は曜日毎に顔ぶれが変わりますが、やさしいスタッフを中心に大変親密に家族的で実に和やかです。なかには「春の海」作者であり演奏家の宮城道雄氏の経歴について詳しい方から話題提供もあり、お互いに勉強になります。人生の大先輩方の集まりで書をたしなむ事も大切、また歩んでこられた人生物語にも耳を傾け、意義ある時間を共に過ごせた事は、すばらしいと感じたことです。良い機会に恵まれた事に感謝しつつ。

「かるた会」を催して 西本 宏江様



昨年12月と今年1月の2回にわたり、フロイデの行事として

「かるたとり」を行いました。よく知られている「犬棒かるた」です。「い」で始まる**一犬も歩けば棒にあたる**は江戸版で、関西版の「い」は**一寸先は闇**だそうです。かるた「歌留多」は室町時代の末期に入ってきたポルトガル語の「cart」に由来し、トランプゲーム一般を指していました。日本では平安時代に 蛤の貝殻で遊ぶ「貝合わせ」がありました。元禄時代には「百人一首かるた」が流行し、「いろはかるた」は幕末に関西で誕生し、江戸に伝わっていったものです。知育玩具の元祖でもあります。現在テレビの幼児番組Eテレの「にほんごであそぼう」のかるたが人気上昇中ですので、参考にされるのもよいでしょう。小谷では元浄寺様発行の元浄寺だより12月号に「かるた」についての記述がありました。

フロイデでは2組に分かれ最初から「やる気満々」の方や傍観視する方々など、それぞれでしたが興がのるにつけ大声を出す人、間違い札をたしなめる人「ハイ」と返事の大きな人などで盛り上がりました。まるで子どもに返ったようで総立ちのさまです。なかに詩を覚えている人はさすがに素早いです。心に残ったかるたの一句に**無理が通れば道理がひっこむ**というものがありました。

フロイデでのかるた会で印象深かった事のひとつに、消極的で一枚も札のとれない方にやさしく手助けされている光景でした。見ていてとても気持ちのよいものです。いくつになっても一つの物事を前向きに取り組む姿勢は必要なこと。いろはかるたは今でも根強い人気を誇り、脳力活性化に一役かった行事でした。

今回、最多数とり札の数は21枚です。